



「電子リソースデータ共有作業部会」のとりくみ ～なぜ電子リソースの共有管理が必要なのか

これからの学術情報システム構築検討委員会
電子リソースデータ共有作業部会

2017年10月2日 (札幌)
13日 (福岡)
12月1日 (京都)
8日 (名古屋)
20日 (東京)

目次

1. 電子リソースデータ共有作業部会とは

1) 概要

2) これからの学術情報システムの方角と課題（再掲）

3) 課題（再掲）

2. 電子リソース管理と共有作業の必要性

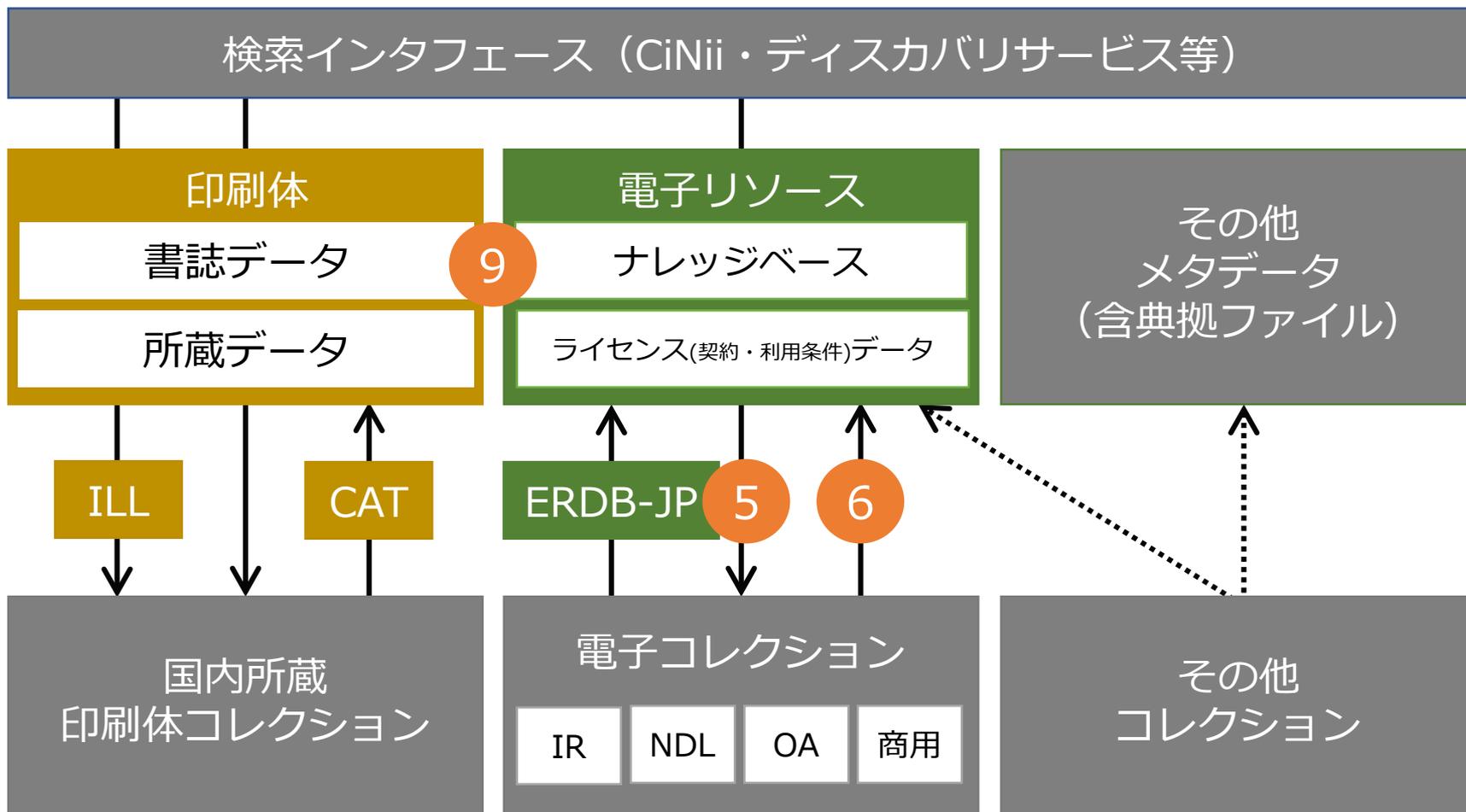
1) 各機関から外へ向けての共有とはどのようなものか？
自館の電子リソースを世界中で使ってもらうために

2) 外から各機関へ向けての共有とはどのようなものか？
自館とその利用者のサービス向上に向けて

概要

- これからの学術情報システム構築検討委員会が活動目的とする「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化」のうち、特に電子情報資源のデータの管理・共有に関する企画・立案を目的として平成27年4月に設置された作業部会です
- 2017年度は電気通信大学、鹿児島大学、神戸大学、北海道大学、佛教大学、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター、国立情報学研究所（JUSTICE事務局）からの委員と、東京工業大学、早稲田大学、国立極地研究所からの協力員によって構成されています

これからの学術情報システムの方向と課題



課題

(1)統合的発見環境の提供

- NACSIS-CATの位置付け
 - ①共同分担目録：書誌データの利活用への参加／不参加
 - ②資源共有：所蔵データの利活用への参加／不参加
 - ③共同保存・利用（Shared Print）
- NACSIS-ILLの位置付け
 - ④紙から電子への移行
- 国内コンテンツのメタデータの捕捉
 - ⑤ERDB-JPの整備・運用
- 商用コンテンツのライセンスデータの管理・共有
 - ⑥JUSTICEとの連携

課題

(1)統合的発見環境の提供

- 検索インターフェースの拡張
 - ⑦CiNiiはどこまでを対象とするのか
 - ⑧API公開

課題

(2)メタデータの標準化

- 相互利用
 - ⑨メタデータのオープン化

(3)学術情報資源の確保

- デジタイズ
 - ⑩印刷体資料の電子化
 - ⑪電子コレクションのアーカイブ対応

(4)その他

- 協力体制
 - ⑫大学図書館、NII、NDL
- ⑬ログデータの活用

目次

1. 電子リソースデータ共有作業部会とは

- 1) 概要
- 2) これからの学術情報システムの方角と課題（再掲）
- 3) 課題（再掲）

2. 電子リソース管理と共有作業の必要性

- 1) 各機関から外へ向けての共有とはどのようなものか？
自館の電子リソースを世界中で使ってもらうために
- 2) 外から各機関へ向けての共有とはどのようなものか？
自館とその利用者のサービス向上に向けて

「電子リソース共有作業」の二つの概念

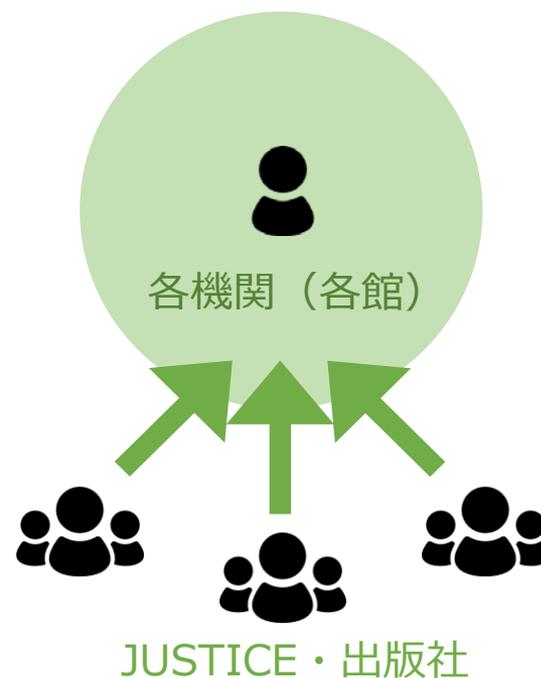
(1)



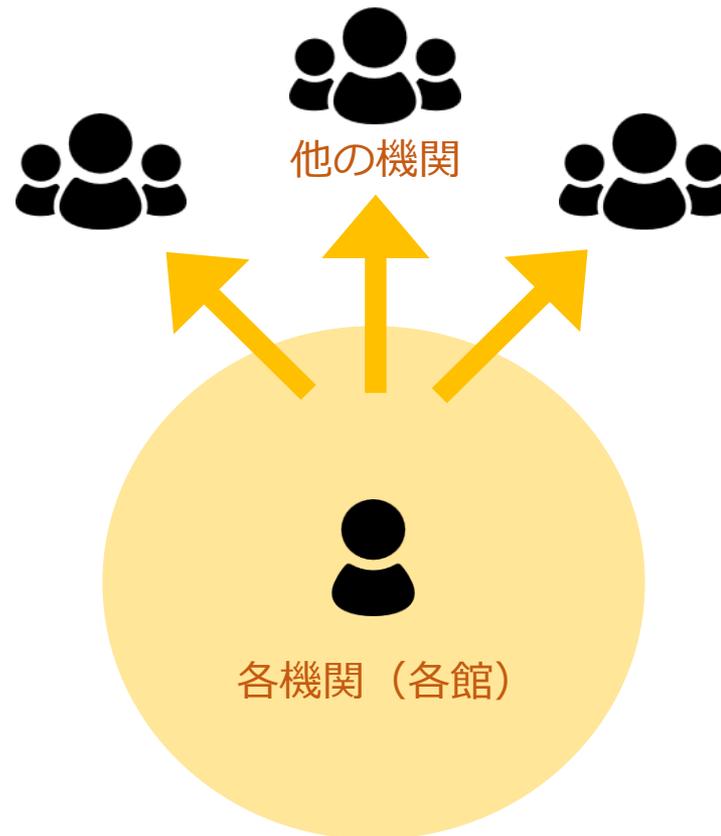
感覚的には「みんなのため」の共有

(2)

感覚的には「自分たちのため」の共有



- (1) 各機関から外へ向けての共有とはどのようなものか？
自館の電子リソースを世界中で使ってもらうために



(1) の「各機関から外へ向けての共有」作業の必要性について取り上げます

(1) 各機関から外へ向けての共有とは？

- 他機関の利用者やステークホルダーに対し、適切な形で自館由来の学術情報を提供することを目的とする「共有」
- NACSIS-CATなどの総合目録が従来になってきた、各機関の蔵書（とくに雑誌）に対する共同管理を電子の世界で実現させるもの

各機関の「紙」の蔵書については

NII-図書書誌詳細(本番用)

>> NII-書誌検索 > NII-書誌一覧 > NII-図書書誌詳細

印刷 子書誌 所蔵登録

<BB20603495> 図書館を変える! : ウェブスケールディスカバリー入門 / 飯野勝則著. -- ネットアドバンス. -- 270p : 挿図 ; 21cm. -- (ジャパンナレッジライブラリアンシリーズ).

書誌詳細 自館所蔵一覧(1件) 所蔵検索(161件)

絞込み クリア

FANO: _____ LOC: _____
VOL: _____ CLN: _____

検索結果:161件

表示件数: 20 << 1 2 3 4 5 6 7 8 9 >>

<CC1444794890>	<FA006157>	東邦大留
<CC1444890624>	<FA023054>	常盤会学
<CC144501866X>	<FA002564>	三重大 @
<CC1445280254>	<FA012943>	情報研 @
<CC1447009717>	<FA003148>	島大 @ NI
<CC1447608347>	<FA020227>	情芸大 @
<CC1448233680>	<FA01959X>	静岡大芸
<CC1450100885>	<FA000106>	東工大岡
<CC1450423962>	<FA004504>	東北福大
<CC1450569403>	<FA007670>	同大 @ O1
<CC1450617801>	<FA003691>	琉大 @ O1

WorldCat

Kyoto.

著者: Kyoto Exhibitors' Association
出版地: Kyoto, [1910?]
エディション/フォーマット: 紙書籍: English 全てのエディションを表示
データベース: WorldCat
評価: ○○○○○ (まだ評価がありません) 健全性テスト
件名: Kyoto
関連語: 関連語

オフラインで入手

現在地を入力してください: United States 図書館検索

14 / 27 冊 (本エディション)

図書館	所属フォーマット
1. Art Institute of Chicago Ryerson & Burnham Libraries Chicago, IL 60603 United States	紙書籍
2. Cleveland Museum of Art Ingalls Library - Cleveland Museum of Art Cleveland, OH 44106 United States	紙書籍

CiNii

日本の論文が読めます 大学図書館の本が読めます 日本の博士論文が読めます

中世京都と紙園祭: 疫病と都市の生活

藤田 晴子
ウキタ 晴子

関連文献: 1件 ↓

書誌事項

中世京都と紙園祭: 疫病と都市の生活
藤田晴子著
(我みなおす日本史)
書川弘文館, 2016.7

タイトル別名: 中世京都と紙園祭: 疫病と都市の生活
タイトル読み: チュウセイキョウトキョウエンノイシノセイカン

大学図書館所蔵: 59件 / 全59件

すべての地域 すべての図書館 OPACリンク取り

信州大学 附属図書館 開 200721179 OPAC

オックスフォード大学 ボトリアン図書館 開 Jap 4 11011 OPAC

南山学院大学 図書館 開 001601900 OPAC

詳細情報

NC書誌番号(NCID): BB21474762
ISBN: 9784542067157
出版地コード: JP
タイトル言語コード: JPN
本文言語コード: JPN
出版地: 東京

他機関と所蔵情報を共有することで、ILLなどに大きな威力を発揮しています。他機関との文献複写や現物貸借のやり取りは、図書館業務の柱のひとつです

では電子リソースの場合はどうでしょうか

The image displays two digital resource portals side-by-side. On the left is the BAKER portal (佛敎大学論文目録リポジトリ), which features a search bar with the text '祇園祭' and a list of search results. The first result is '丹波の祇園祭 : 篠山市波々伯部神社の祭礼を事例として' (The Gion Festival in Tanba Area) by 八木透, published in the '歴史学部論集' (Historical Studies) journal, issue 07, on March 1, 2017. The second result is '竹田聰洲の祇園祭調査と写真フィルム' (Gion Festival Investigation and Photograph Film of Choshu Tanabe) by 竹田聰洲, also in '歴史学部論集', issue 7, on March 1, 2017. On the right is the JAIRO portal (Japanese Institutional Repositories Online), which shows a search interface with the same search term '祇園祭'. It displays search results for the same two articles, with the first result being the article by 竹田聰洲 and the second being the article by 八木透. Both portals include navigation options like 'すべて' (All) and '本文あり' (Full text available), and display the number of search results (36 items).

たしかに機関リポジトリを作り、JAIROにメタデータを提供すれば、他機関の利用者にも自館の電子リソースを提供できているように感じます

でも落とし穴がないわけではありません

Showing results 1 through 8 of 8
for the search: タイトルが右の語から開始 "library information"

Note: Alternate titles may have matched your search terms.
Refine Results: [All](#) | [Journals Only](#) | [Books Only](#)

Limit by: [Peer Reviewed](#) | [Open Access](#)



Library & information history
ISSN: 1758-3489
 Peer Reviewed
2009/03/01 to Present in [Taylor & Francis Online](#)
2009/03/01 to 1 year ago in [Academic Search Complete](#)

Library and information research
eISSN: 1756-1086
 Open Access
2007 to Present in [Directory of Open Access Journals](#)
[Freely Accessible Social Science Journals](#)
2007/01/01 to Present in [Open Access Digital Library](#)

BUKKYO UNIVERSITY LIBRARY
お気軽検索

図書館ウェブサービスにおけるWeb APIの活用：佛
教大学図書館の場合(Web API活用術)

著者: 飯野, 勝則
ジャーナル: 情報の科学と技術
ISSN: 0913-3801
日付: 2014/01/01
巻: 64 号 5 ページ: 181-187

J-STAGE ① ▲
[雑誌をブラウズ](#)
2007 - 6カ月前

さらにヘルプが必要な場合 ▲

[文献複写を依頼する](#)
※この機能は専任教職員、通学課程、通信教育課程
の在学生の方のみご利用いただけます
※ご利用に際しては、ページ数と巻号データを充分お
確かめ下さい
[データをエクスポート](#)

いくら機関リポジトリに論文や記事を登録し、JAIRO (IRDB) にデータを流しても、そのままAtoZやリンクリゾルバに自館のOAジャーナルのタイトルが搭載されるわけではありません。

そのため

論文情報

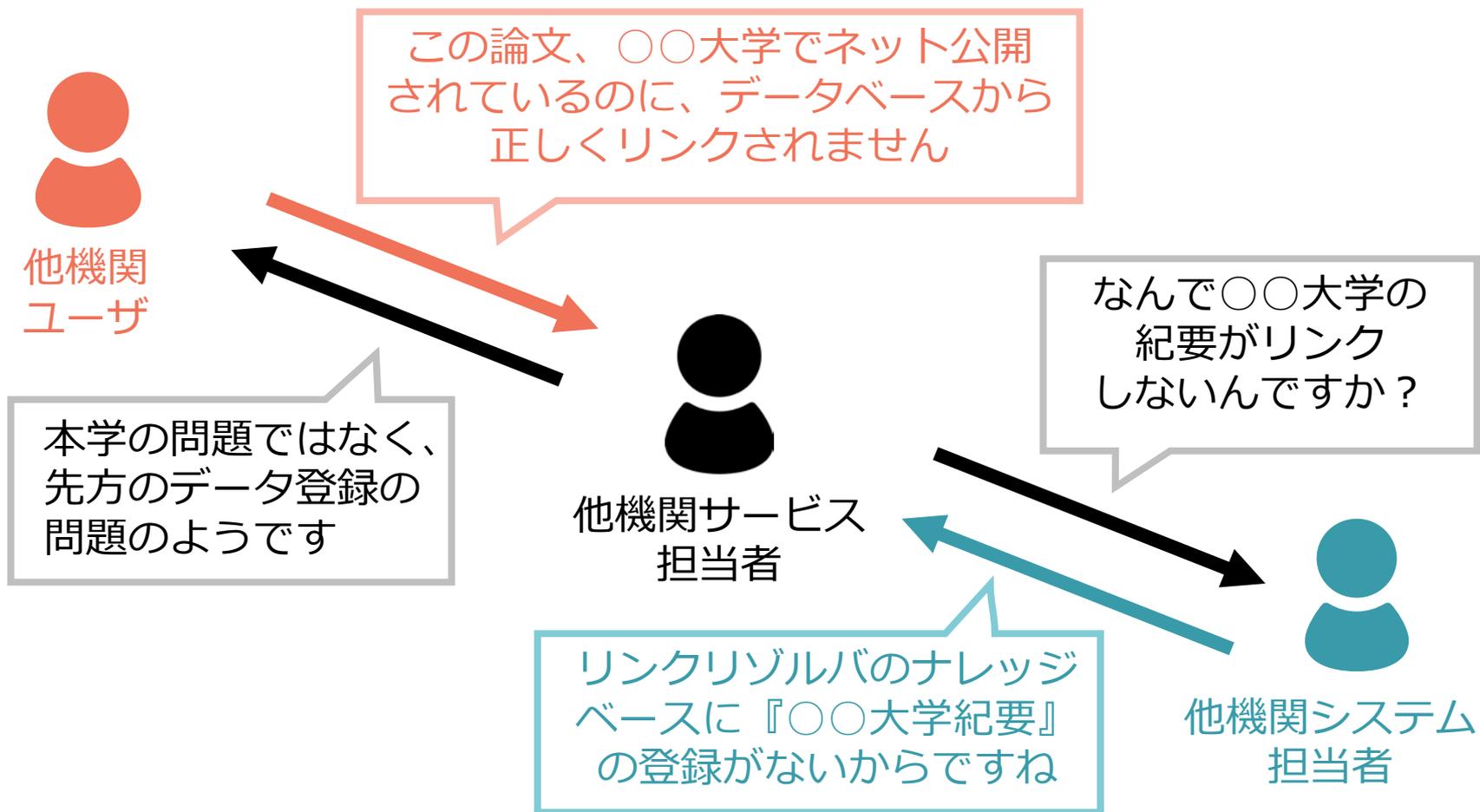
論文タイトル	ERDB-JPとはなにか		
著者名	勝則, 飯野		
雑誌タイトル	NII大学研究紀要		
ISSN:	0777-7777	発行年月日	2017
号/Issue	55	ページ/Page	1

該当するフルテキスト情報がありませんでした。

文献複写を依頼する

せっかく機関リポジトリでOAジャーナルを公開し、「論文」や「記事」を無料で公開しても、ISSNを用いて「ジャーナル」レベルのリンクを形成するリンクリゾルバでは、見つけてもらえない可能性があります。

どこかで、こんなやり取りが行われているかも

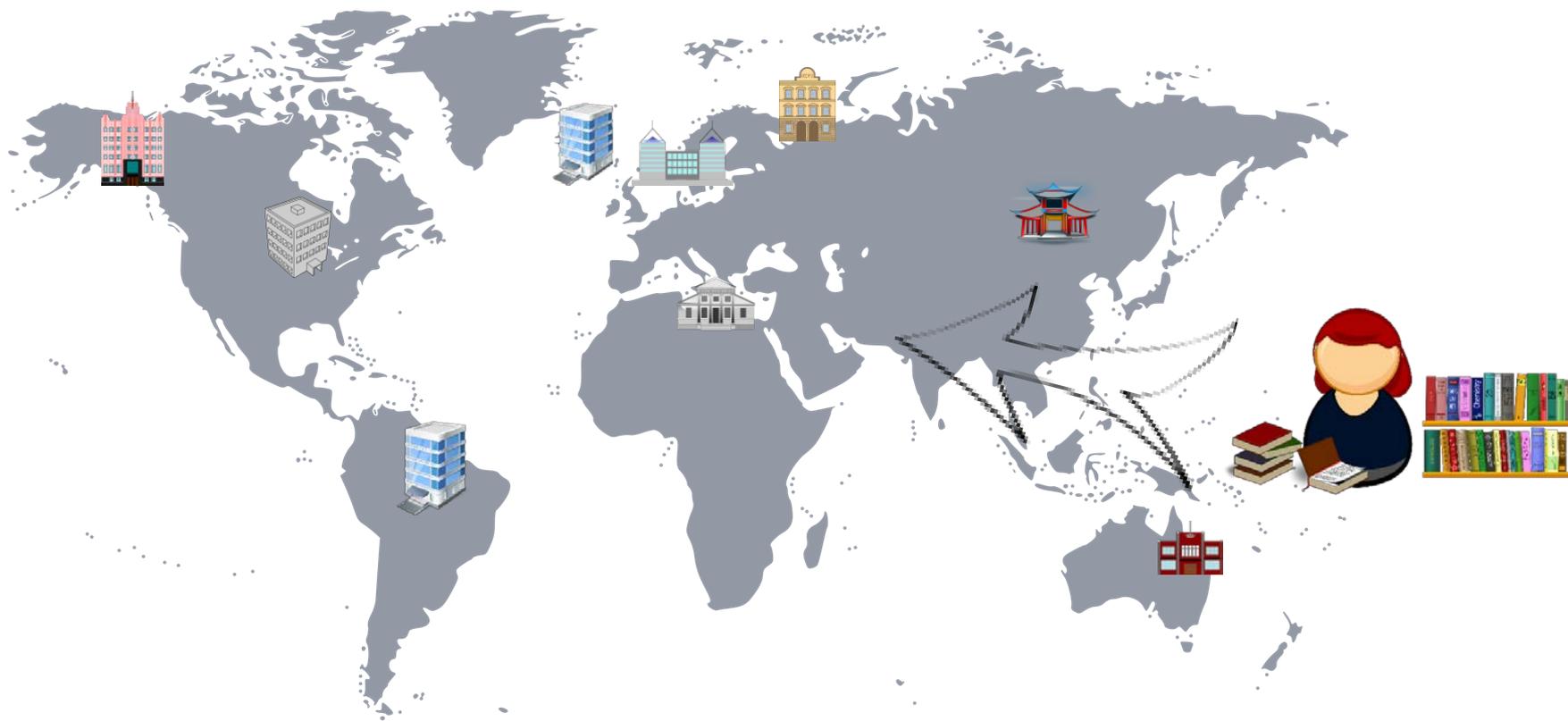


でも逆に言えば

The screenshot displays a library website interface. On the left, a sidebar contains a document icon, the number '1', and a list of metadata: '京都語文 / 仏教大', '雑誌論文: 収録新', 'プレビュー', 'このレコード', 'シリーズ:', 'ソース:', '掲載刊行物:', '号:', 'ページ:', '出版年:', 'ISSN:', and '本文言語:'. The main content area features a search bar with 'BAKER' branding, a search button, and a list of search results. The top result is '源氏物語への回路: 伊勢物語第六段の再検討から', with a cover image of the journal '京都語文' (No. 21). Below the search bar, there are filters for 'すべて', '本文あり', and '雑誌一覧'. The right sidebar contains a search icon, the text 'お気軽検索', and a detailed view of the selected article, including the author '登朗, 山本', journal title '京都語文', ISSN '1342-4254', date '2016/11/26', issue '号 23', and page 'ページ: 50-66'. It also lists 'Freely Accessible Japanese Titles' and '他に利用可能なオンラインのソース'.

リンクリゾルバに「ジャーナル」のタイトルが登録されれば、
世界中の大学で使われるディスカバリーサービスや抄録データベースなどから簡単にアクセスできるようになるということです

しかし



各機関が独自に世界中のリンクリゾルバのベンダーや図書館に対して、
自館で公開するOAジャーナルと、そのURLの登録をお願いするのは現実的では
ありません

そこでERDB-JPが役に立ちます

The screenshot shows the homepage of ERDB-JP. At the top, there is an orange header with the text "ERDB-JP" and "Electronic Resources Database-JAPAN" below it. Below the header is a navigation bar with six buttons: "HOME" (dark blue), "概要" (Overview), "コンテンツ" (Contents), "パートナー" (Partners), "ドキュメント" (Documents), and "お問い合わせ" (Contact Us). The main content area features the text "日本の電子リソースを世界へ" (Japanese electronic resources to the world) above a search bar with a magnifying glass icon. Below the search bar, it displays "14,877 Titles, 55 Partners" in red text. A paragraph of text follows, stating that ERDB-JP is a service for sharing electronic resource data from Japan, built by universities, publishers, and NACSIS+ members. It also mentions that the data is provided under CC0 1.0 Universal and that users can search, browse, export, register, correct, and delete data.

ERDB-JP
Electronic Resources Database-JAPAN

HOME 概要 コンテンツ パートナー ドキュメント お問い合わせ

日本の電子リソースを世界へ

14,877 Titles, 55 Partners

ERDB-JPは、大学・出版社・ナレッジベースベンダーが協力して構築する、日本で刊行された電子リソースのデータ共有サービスです。

サイト内に登録されたデータはCC0 1.0 Universalの下に提供されています。

データの検索・閲覧・エクスポートおよび新規登録・修正・削除依頼はどなたにでも行っていただけます。

ERDB-JPとは

- 日本におけるOAジャーナルのタイトルや公開範囲、URLなどを集約したデータベースです
- 2017年9月6日現在で14,991タイトルが収録されています
 - 電子ジャーナル： OA 13,966 / 有料 531
 - 電子ブック： OA 494

ERDB-JPとは

- 登録されたメタデータは、CC0で公開されており、エクスポート機能を利用して出力し、各機関のOPACで利用いただくことも可能です
- 登録されたデータは、“Freely Accessible Japanese Titles”というパッケージ名でリンクリゾルバのベンダーにも共有されています
- 海外のオープンナレッジベースのコミュニティと連携しています
 - KB+（英、スウェーデン）、BACON（仏）

ERDB-JPとは

- メタデータの登録やメンテナンスは、パートナー60機関によって自律的に行われています
- 体系的なデータ更新により品質を確保しています
 - 機関リポジトリとの自動連携
 - JAIRO Cloud実装済
 - パッケージ/ベンダー単位での連携
 - J-STAGE, PierOnline, ISSN日本センター, 医中誌刊行会

こんな感じで世界中で使えるようになります

BAKER 図書館関連サイト

佛教大学および学術団体刊行の雑誌論文・目録を検索
佛教大学論文目録リポジトリ

更新日: 2017年08月02日 件数: 8,751件

簡易検索 詳細検索

検索

すべて 本文あり 雑誌一覧

雑誌名 > 京都語文
京都語文 / 佛教大学国語国文学会

ISSN : 13424254 , NCID : AN10591104

24, 学科創設五十周年記念

23

BUKKYO UNIVERSITY LIBRARY お気軽検索

源氏物語への回路: 伊勢物語第六段の再検討から

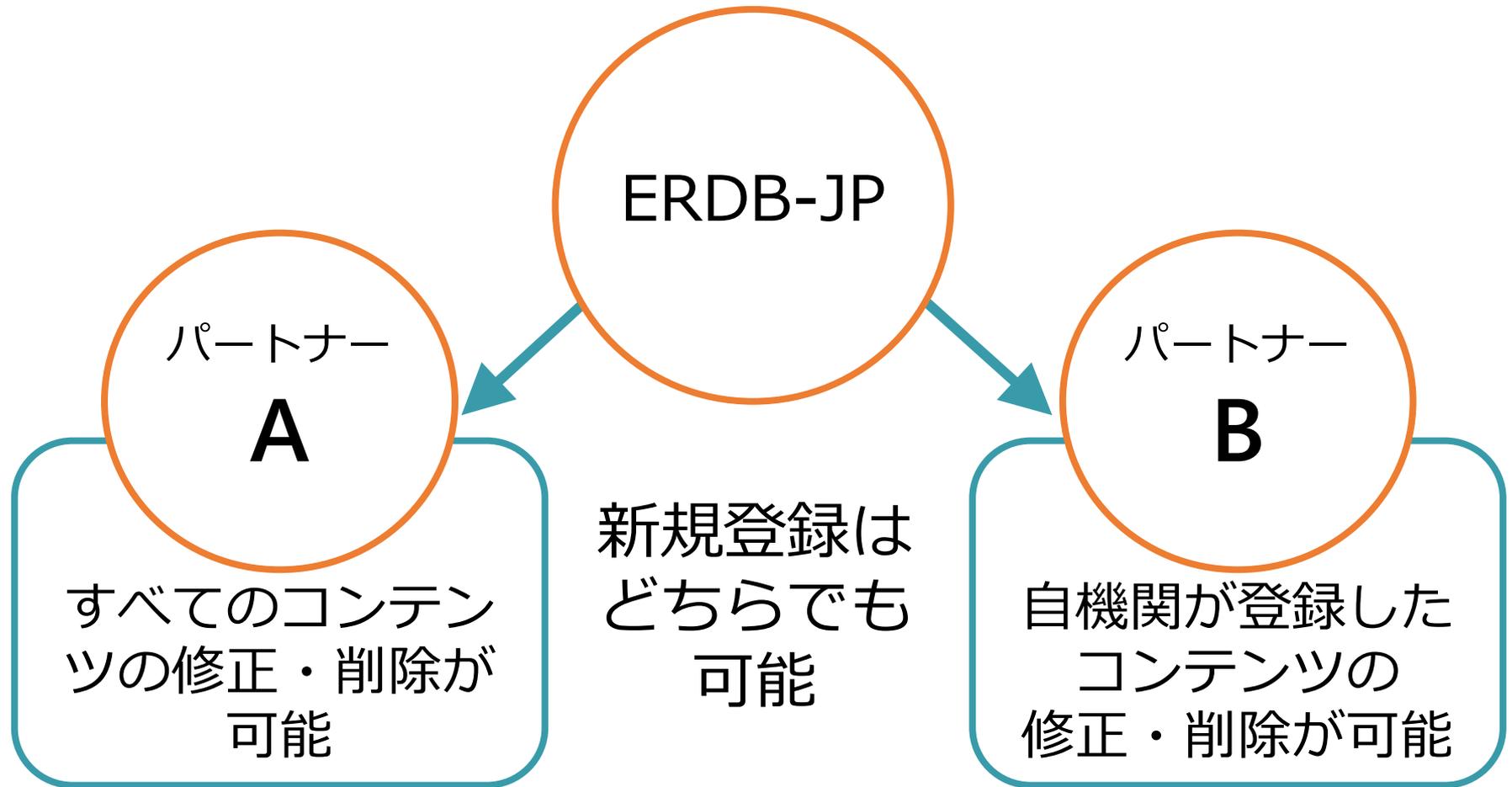
著者: 登朗, 山本
ジャーナル: 京都語文
ISSN: 1342-4254
日付: 2016/11/26
号 23 ページ: 50-66

Freely Accessible Japanese Titles ⓘ ▲
2009 - 現在
版または巻の番号でオンラインジャーナルをブラウズして、このアイテムを探します。

他に利用可能なオンラインのソース:
別のソースを参照

さらにヘルプが必要な場合 ▲
文献複写を依頼する
※この機能は専任教職員、通学課程、通信教育課程の在学生の方のみご利用いただけます
※ご利用に際しては、ページ数と巻号データを充分お確かめ下さい
データをエクスポート

ぜひパートナーとして世界発信にご協力を!



目次

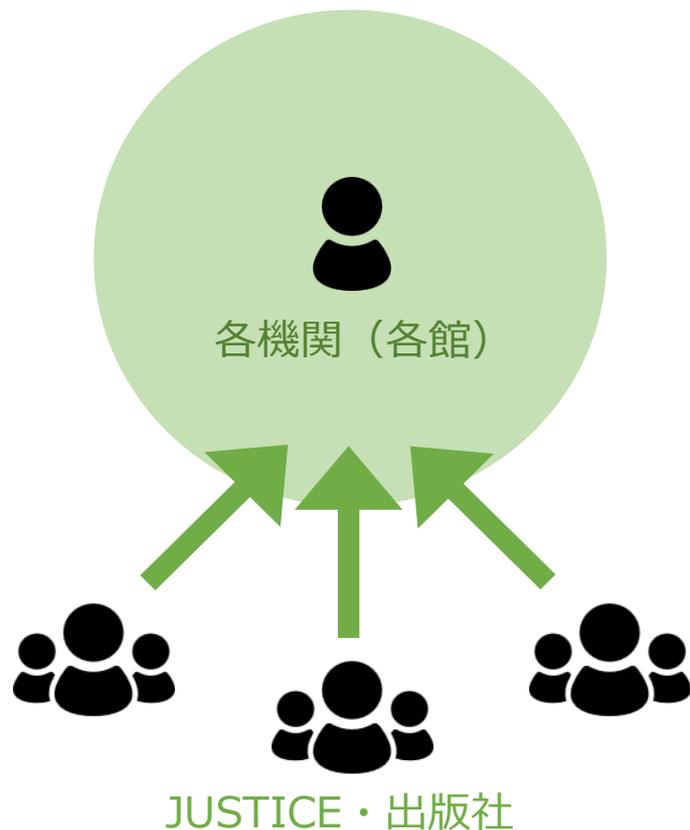
1. 電子リソースデータ共有作業部会とは

- 1) 概要
- 2) これからの学術情報システムの方角と課題（再掲）
- 3) 課題（再掲）

2. 電子リソース管理と共有作業の必要性

- 1) 各機関から外へ向けての共有とはどのようなものか？
自館の電子リソースを世界中で使ってもらうために
- 2) 外から各機関へ向けての共有とはどのようなものか？
自館とその利用者のサービス向上に向けて

ということで、ここでは

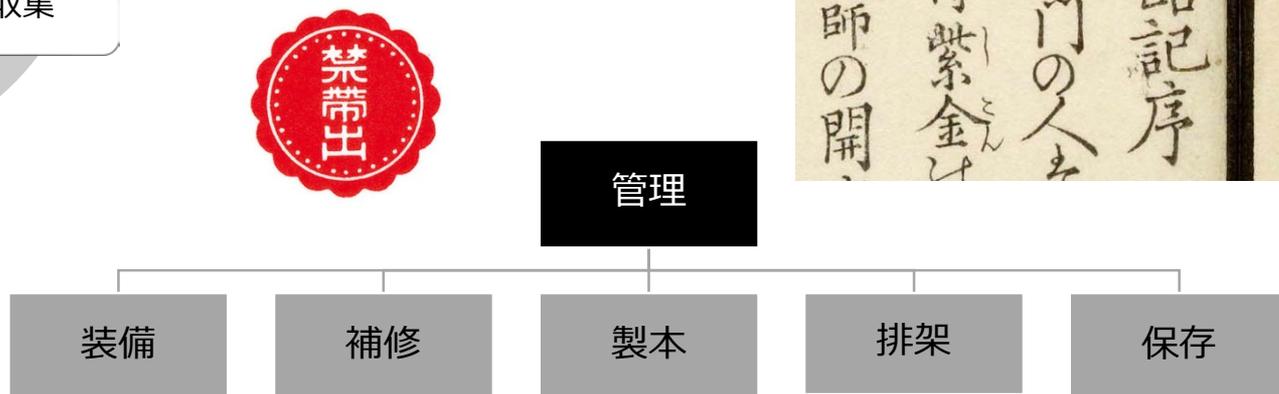
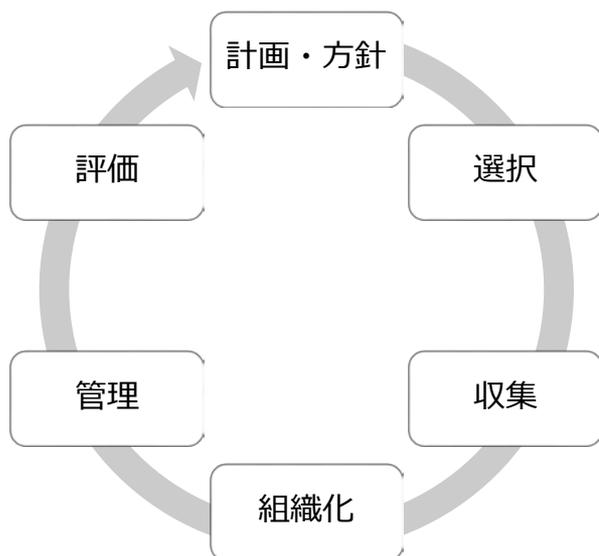


(2) 「外から各機関へ向けての共有」作業を中心に取り上げます

(2) 外から各機関へ向けての共有とは？

- 機関内の利用者やステークホルダーを念頭に、適切な形で外部由来の学術情報を提供することを目的とする「共有」
- 図書館が従来になってきた蔵書に対する行き届いた管理を電子の世界で実現させるもの

実体のある「紙」の資料をどう管理していますか



図書館としての長年の経験を基に、著作権の扱いから、資産としての紛失防止にいたるまで、様々な側面を考慮することで「微に入り細に入り」管理しています

では電子リソースの場合はどうなのでしょう

Showing results 1 through 8 of 8
for the search: タイトルが右の語から開始 "library information"

Note: Alternate titles may have matched your search terms.
Refine Results: [All](#) | [Journals Only](#) | [Books Only](#)
Limit by: [Peer Reviewed](#) | [Open Access](#)



The screenshot displays a library search interface. On the left, there are two search results for 'Library & information' and 'Library and information'. The first result has ISSN: 1758-3489 and is Peer Reviewed. The second result has eISSN: 1756-1086 and is Open Access. On the right, there is a search bar with 'Library journal' entered. Below the search bar, there are filters for 'フィルターをクリアにする', '絞り込み', and 'フォーマット'. The search results list 'Law library journal' and 'Texas library journal'.

Library & information
ISSN: 1758-3489
Peer Reviewed
2009/03/01 to Present
2009/03/01 to 1 year

Library and information
eISSN: 1756-1086
Open Access
2007 to Present in Database
2007/01/01 to Present

お気軽検索
Library journal

フィルターをクリアにする
絞り込み
本文あり(一部例外を含む) ✓
図書館OPACにある文献

フォーマット
新聞記事 (6,501,741)
雑誌論文 (6,443,543)
雑誌記事 (2,012,693)
書評 (1,947,207)
図書 / 電子ブック (22,379)
その他...
発行年月日

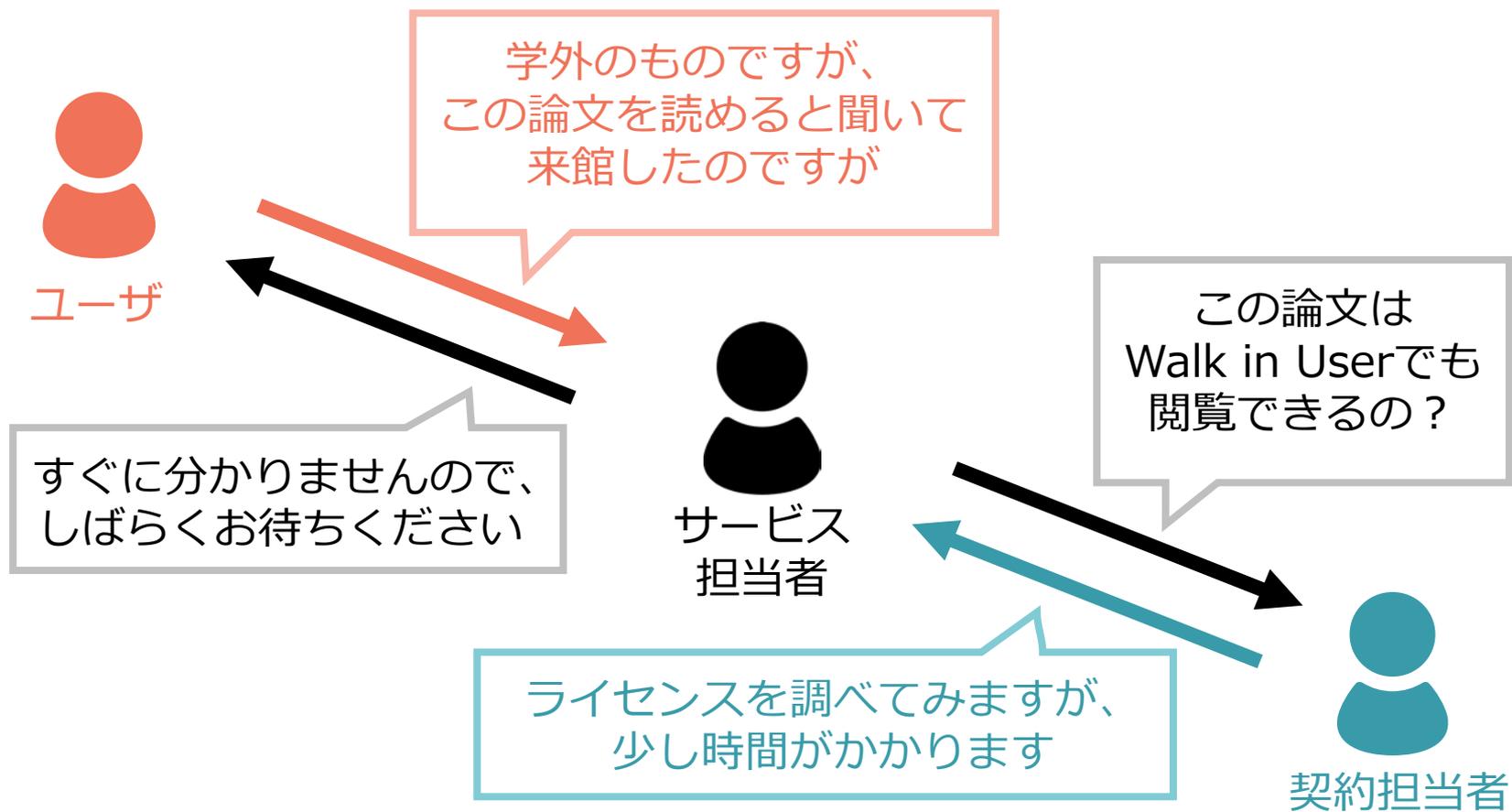
適合度 順による結果 17,052,832件
学内提供サービス以外を追加

1 オンライン Law library journal
: American Association of Law Libraries; National Association of State Libraries. Public Document Clearing House Committee
Law library journal
電子ジャーナル: 本文あり(一部例外を含む)
プレビュー

2 オンライン Texas library journal
: Texas Library Association
Texas library journal, 1950
電子ジャーナル: 本文あり(一部例外を含む)
雑誌: 本文あり(一部例外を含む)
プレビュー

確かにリンクリゾルバやA to Z、ディスカバリーサービスを使えば、利用者への提供はできているように見えます

でも落とし穴がないわけではありません



キャンセル後のアーカイブ権管理も必要です

Volume 30 (2015)

- [Issue 6 \(November 2015\)](#)
- [Issue 5 \(September 2015\)](#)
- [Issue 4 \(July 2015\)](#)
- [Issue 3 \(May 2015\)](#)
- [Issue 2 \(March 2015\)](#)
- [Issue 1 \(January 2015\)](#)

Volume 29 (2014)

- [Issue 6 \(November 2014\)](#)
- [Issue 5 \(September 2014\)](#)
- [Issue 4 \(July 2014\)](#)
- [Issue 3 \(May 2014\)](#)
- [Issue 2 \(March 2014\)](#)
- [Issue 1 \(January 2014\)](#)

Volume 28 (2013)

- [Issue 6 \(November 2013\)](#)
- [Issue 5 \(September 2013\)](#)
- [Issue 4 \(July 2013\)](#)
- [Issue 3 \(May 2013\)](#)
- [Issue 2 \(March 2013\)](#)
- [Issue 1 \(January 2013\)](#)

Volume 27 (2012)

- [Issue 6 \(November 2012\)](#)
- [Issue 5 \(September 2012\)](#)
- [Issue 4 \(July 2012\)](#)
- [Issue 3 \(May 2012\)](#)
- [Issue 2 \(March 2012\)](#)
- [Issue 1 \(January 2012\)](#)

Volume 26 (2011)

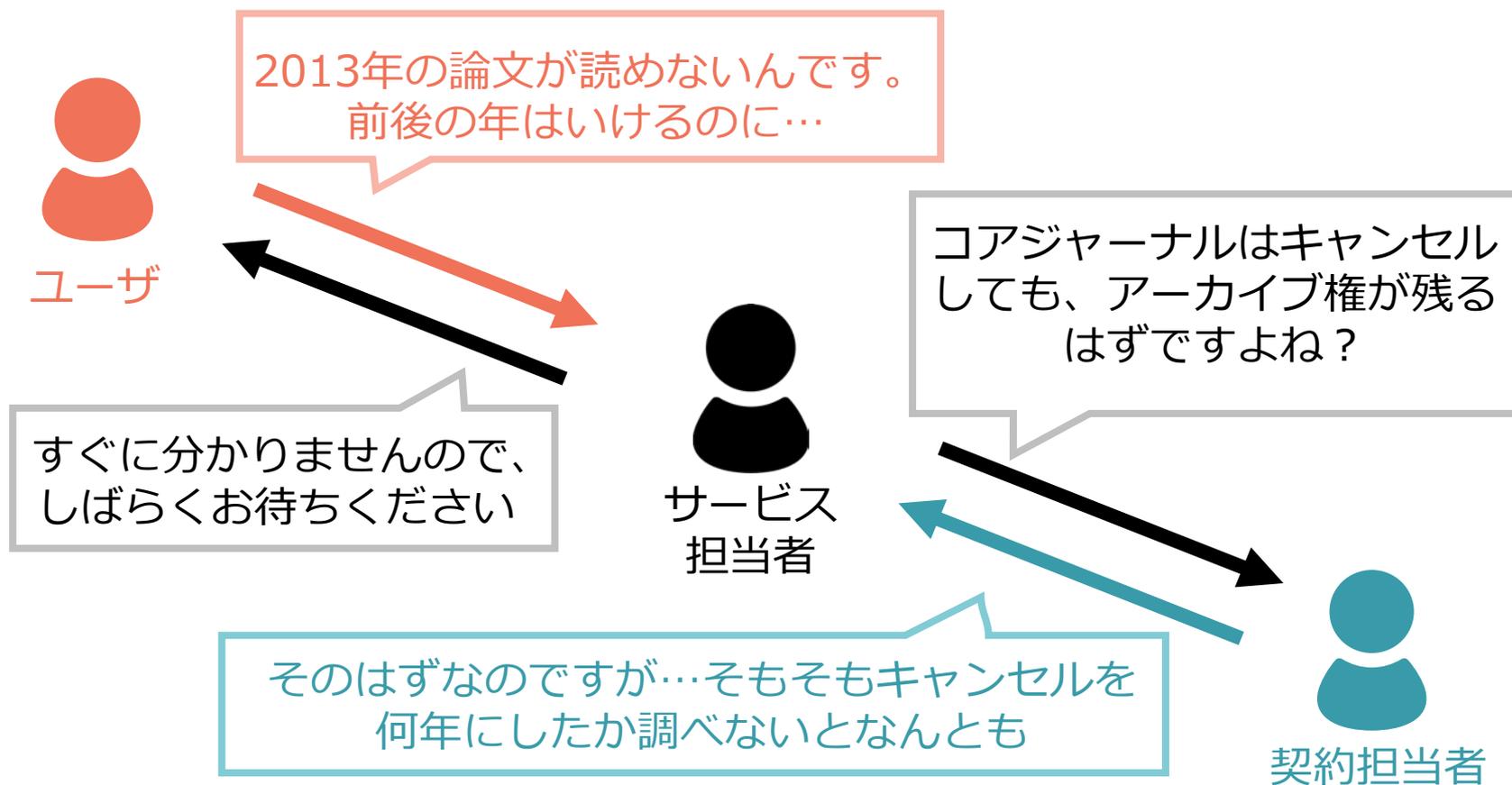
- [Issue 6 \(November 2011\)](#)
- [Issue 5 \(September 2011\)](#)
- [Issue 4 \(July 2011\)](#)
- [Issue 3 \(May 2011\)](#)
- [Issue 2 \(March 2011\)](#)
- [Issue 1 \(January 2011\)](#)

Volume 25 (2010)

- [Issue 6 \(November 2010\)](#)
- [Issue 5 \(September 2010\)](#)
- [Issue 4 \(July 2010\)](#)
- [Issue 3 \(May 2010\)](#)
- [Issue 2 \(March 2010\)](#)
- [Issue 1 \(January 2010\)](#)



ライセンスが問題？それとも他の理由？



これでは「紙」のように管理が行き届いているというイメージにはなりませんよね。サービスという点でも問題がありそうです…

実際電子リソースの提供条件は複雑です

ポスト・キャンセレーション・アクセス

アーカイブ権

エンバーゴ

ローリング/ムービングウォール

アクセス範囲

ILL

Walk in User

リモートアクセス

コースパック

トライアル利用

提供条件

「紙」とは異なる複雑なアクセス範囲や提供条件の設定があります。そしてその提供条件は無数に存在する電子リソースごとに異なるという現実があります。

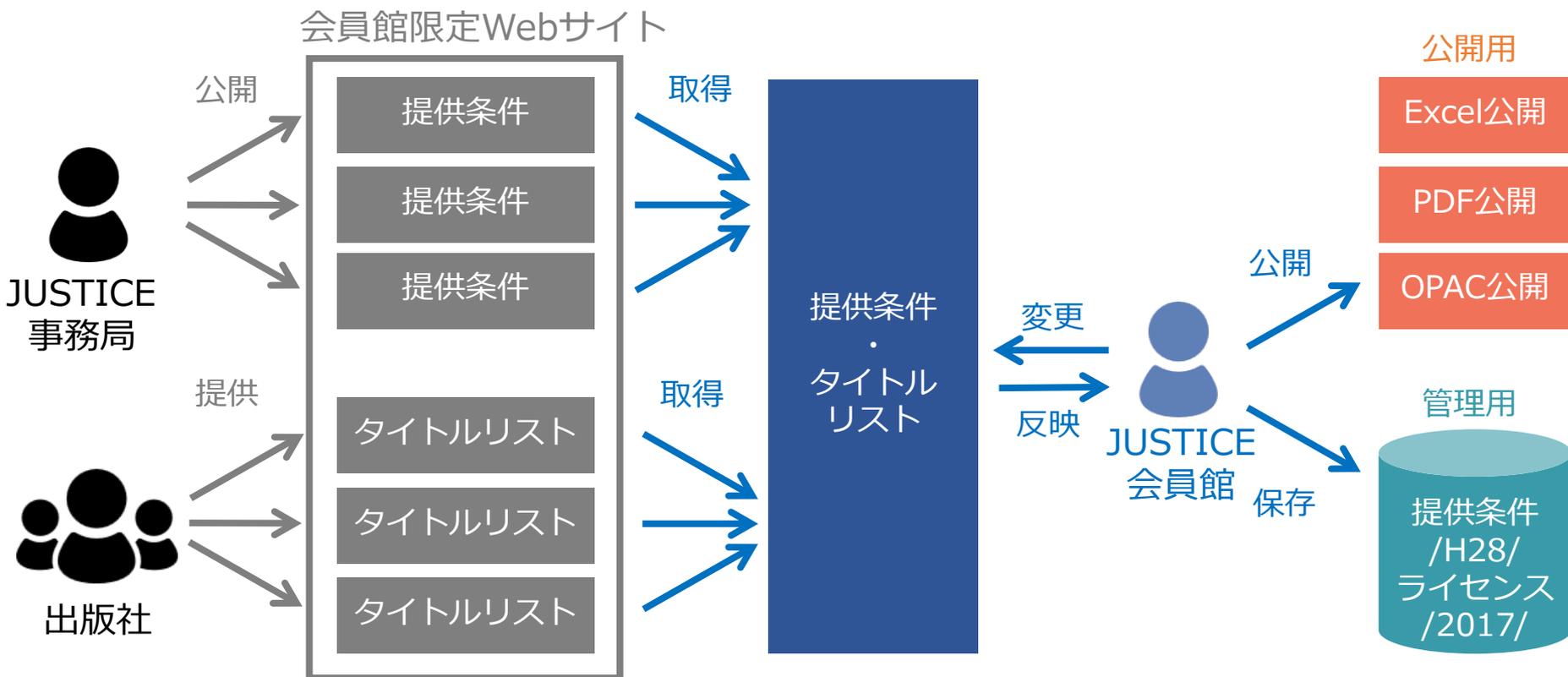
提供条件をしっかりと管理

- いかにかA to Zやリンクリゾルバ、ディスクバリーサービスがあろうと、ナレッジベースを適切に管理しない限り、行き届いたサービスにはならないという現実には困りものです
- しかし提供条件をしっかりと把握、管理し、利用者に適切に開示できる環境を構築できれば、電子リソースを効率的かつユーザーフレンドリーに提供できるようになります

リスクを避けることもできます

- しかも図書館として、知らず知らずのうちに「ライセンス侵害」を引き起こすような事態も避けることができます
- アーカイブ権を有する雑誌の状況などを詳細に把握し提供することは、限られた予算を背景にした適切な資産管理を実現することに繋がります

でもこれをしっかり実行すると

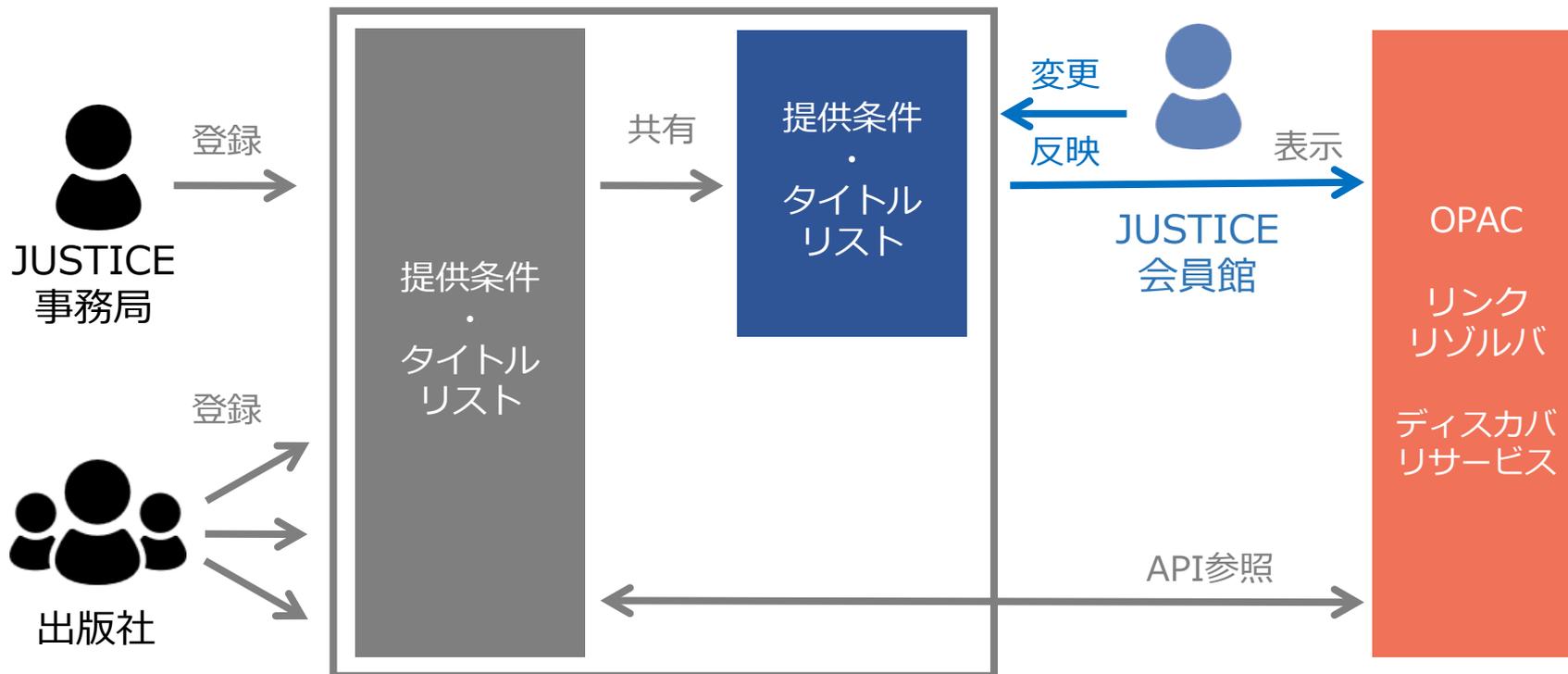


提供条件やタイトルリストの取得、整理作業は、JUSTICE会員館側で行う必要があります。かなり大変な作業になります。これでは新たに管理をしっかりとやるという図書館があっても踏み出しにくいかもしれません。

ではこれならどうでしょう？

電子リソース管理システムによる管理・共有

公開用



JUSTICE での提供条件や出版社のタイトルリストを、システムを介し各図書館でローカライズできる形で共有できれば、管理のハードルは低くなりますよね

これらを実現するために

- 電子リソース業務の管理基盤・ワークフロー構築について検討しています
- とくにコンソーシアムにおける「提供条件・タイトルリスト」の共有が、コンソーシアムと機関の間で効果的に行えるか否かは重要です
- 可能性の一つとして「**図書館サービスプラットフォーム (LSP)**」が提供するワークフローの有用性を検証しています

(参考) 図書館サービスプラットフォーム (LSP) とは

- 「紙」を中心とした実体のあるコンテンツを管理してきた従来型の図書館システム (ILS) に、電子情報資源管理システム (ERMS) やリンクリゾルバなどの周辺システムを統合したものです
- 「紙」も「電子」も形態の違いを意識することなく、同様のワークフローの中で管理、提供が可能になるという特徴があります

(参考) 主要な商用LSP

- Ex Libris (ProQuest) 社 Alma
- OCLC WorldShare Management Services (WMS)
- Innovative Interfaces社 Sierra Library Services Platform (Sierra LSP)

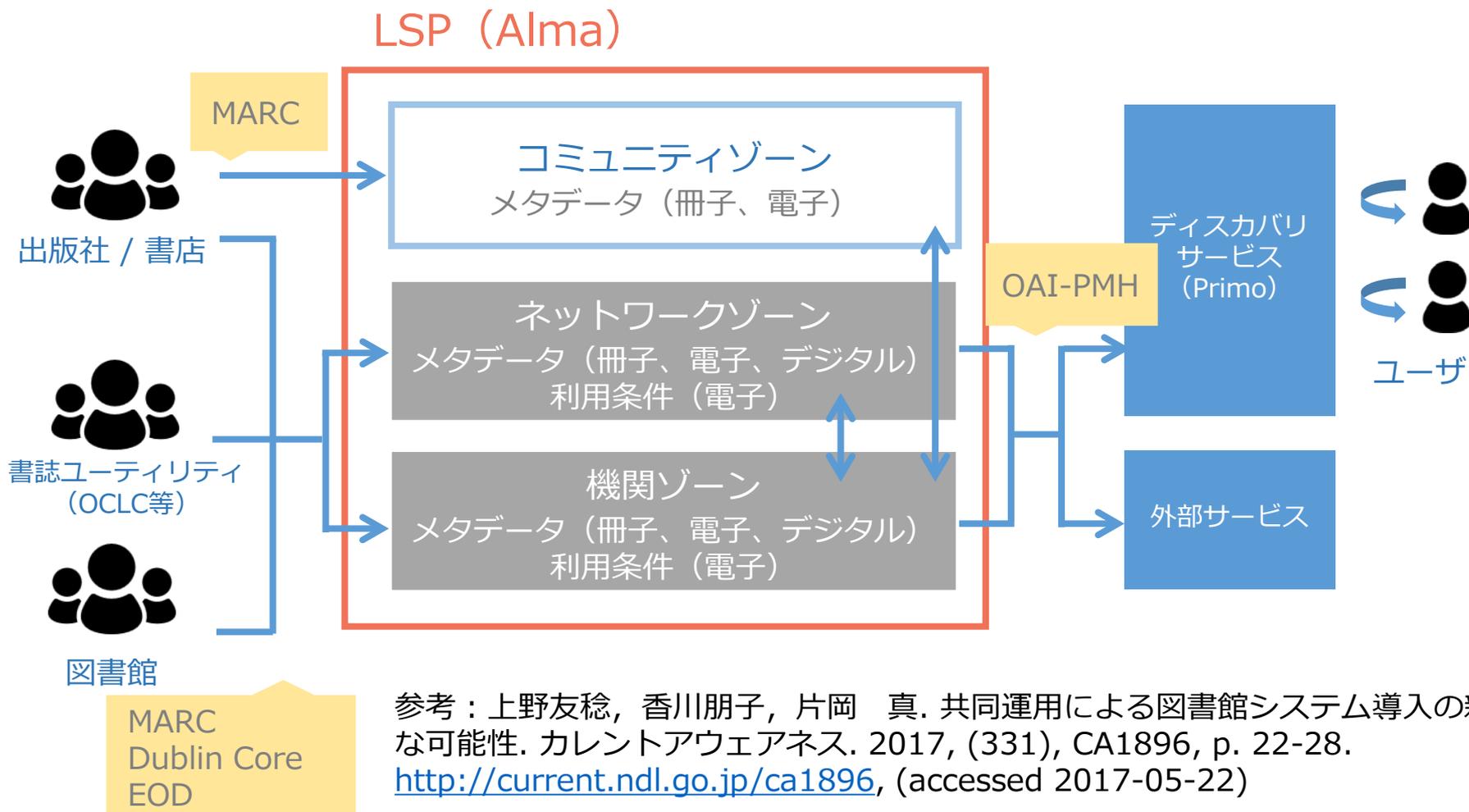


(参考) LSPの運用面における特徴

- クラウドサービスでの運用が基本です
- 単館としての利用だけでなく、複数の図書館がコンソーシアムを形成し共同で導入、運用する事例も増加しています

最終的には「機能面」における検証に加え、こういった運用面における特徴なども検討した上で、日本における「電子リソース共有作業」に対するLSPの適合可能性を見極めたいと考えています！

(参考) 海外におけるLSPの共同運用の概念図



参考：上野友稔，香川朋子，片岡 真. 共同運用による図書館システム導入の新たな可能性. カレントアウェアネス. 2017, (331), CA1896, p. 22-28.
<http://current.ndl.go.jp/ca1896>, (accessed 2017-05-22)

参考文献

- 大谷周平. Library Services Platformの現在. カレントアウェアネス. 2015, (326), CA1861, p. 9-14.
<http://current.ndl.go.jp/ca1861>, (accessed 2017-05-20)
- 上野友稔, 香川朋子, 片岡 真. 共同運用による図書館システム導入の新たな可能性. カレントアウェアネス. 2017, (331), CA1896, p. 22-28.
<http://current.ndl.go.jp/ca1896>, (accessed 2017-05-20)
- Breeding, Marshall. Library Systems Report 2017. American Libraries Magazine. 48(5).
<https://americanlibrariesmagazine.org/2017/05/01/library-systems-report-2017/>, (accessed 2017-05-22)
- 飯野勝則. 海外日本研究に忍び寄る危機—学術情報サービスの視点から. リポート笠間. 2017, (61).
http://kasamashoin.jp/2016/12/61_2016314231.html, (accessed 2017-06-07)

ご清聴ありがとうございました

これからの学術情報システム構築検討委員会
電子リソースデータ共有作業部会